

## 平成 29 年度「第二次三重県行財政改革取組」 上半期の進捗状況について

「第二次三重県行財政改革取組」は、「協創・現場重視の推進」「機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営」「残された課題への的確な対応」を 3 つの柱として、取り組んでいるところです。

本取組の進捗状況については半期ごとに取りまとめ、県議会に報告するとともに、ホームページなどを通じて県民の皆さんへ公表することとしており、今年度の上半期（4 月～9 月）の実績を、資料 1 別表のとおり取りまとめました。

### 1 具体的取組の上半期実績

#### 【協創・現場重視の推進】

##### ○協創による事業・業務の実施を促進する仕組みの構築（別表 番号 2）

庁内の協創事例を集約したポータルサイトについて、掲載内容を充実させるとともに、職員研修での紹介やメルマガへの掲載等、さまざまな機会を通じて、職員への周知を図りました。

#### 【機動的で柔軟かつ弾力的な行財政運営】

##### ○機動的で柔軟かつ弾力的な働き方改革の推進（別表 番号 4）

平成 29 年度のワーク・ライフ・マネジメントにおける推進項目の一つとして、「時差出勤勤務」について、具体的な実施内容や実施時期について労使で検討を行い、試行的に実施しました。

（実施期間 平成 29 年 6 月 1 日～平成 29 年 9 月 29 日）

##### ○機動的な財政運営の確保（別表 番号 5）

県財政の健全化に向けた具体的方策として、「三重県財政の健全化に向けた集中取組」を策定しました。

具体的な取組として、「県有施設の見直しについて」や「クラウドファンディング活用指針」を策定しました。また、使用料の見直しについての検討や外部資金利活用のための情報提供に取り組みました。

#### 【残された課題への的確な対応】

##### ○意欲の向上に向けた組織風土づくり（別表 番号 7）

職員提案制度について、職員が改善提案を行うための事例を集約した「M I E 職員力ポータルサイト」の運用を開始するとともに、M I E 職員力アワードについて、優良事例の水平展開に向けた検討を行いました。

## 2 年次計画に対する進捗状況

上半期経過時点（9月末）では、具体的取組のうち、平成 28 年度に達成済みの 4 項目を除き、今年度の年次計画により進行している 7 項目すべてについて、ほぼ計画どおり進捗している状況です。

下半期につきましても、引き続き適切な進行管理に努め、年次計画及びロードマップ（工程表）に基づき、着実な推進を図ります。

また、既に達成済みの取組においても、定期的の実績等を確認しながら、取組にかかる成果の維持・向上に努めます。